



秋のオススメ本紹介

YA担当より

“読書の秋”がやってきましたね！

YAコーナーでは、ここに紹介した本の他にも、たくさんのおすすめ本を取り揃えています。年に一度の本の入れ替えもしているので、ぜひコーナーに立ち寄ってみてくださいね。あなたにぴったりな本が、きっと見つかりますよ♪

①

「だいじな本のみつけ方」

大崎 梢 / 著
光文社
YA書架 913オ



読書が大好きな中学二年生の野々香^{ののか}は、学校の手洗い場で忘れ物の本を見つける。好奇心から書店のカバーを外してみると、それは、まだ発売されていないはずの最新刊だった！野々香は、いけすかないクラスの図書委員・高峯秀臣^{たかみねひでおみ}と、本の持ち主が誰なのか、どうやって手に入れたのかを探り始める。大切な本と人との出会いを描いた、読書の秋におすすめの1冊です。

②

「ヤクーバとライオン 1」

ティエリー・テテュー / 作
柳田 邦男 / 訳
講談社
YA書架 E 示 / 1



アフリカ奥地にある小さな村。そこでは成長した少年が、ひとりでライオンと闘い、倒すことで勇気を示す儀式があった。

しかし、村の少年ヤクーバが見つけたのは、すでに敵と戦い、力尽きかけていた1頭のライオンだった。傷ついたライオンを殺して、立派な男と呼ばれるか、それとも殺さず村に帰るのか…。

果たしてどちらが本当の名誉か、そしてヤクーバはどちらの道を選ぶのか。

本当の勇気とはなにかを教えてくれる1冊。

③

「世界でいちばん貧しい大統領 からきみへ」

ホセ・ムヒカ / 著
くさば よしみ / 編
田口 実千代 / 絵
汐文社
YA書架 289ム



2012年、各国の代表が環境について話し合う国際大会でのスピーチで、多くの人の共感を得たホセ・ムヒカ元大統領の、これまでのスピーチやインタビューから、彼の「人の生き方」への考えを簡潔にまとめた一冊。

なぜ命が大事なのか、物やお金を消費することとは、幸せとは。真摯^{しんし}に向き合ったからこそ生まれる率直な心に響く言葉に出会えます。

④

「世界の学び舎
こんにちは！12歳のネットワーク」
井上 直也 / 文・写真
西村書店
YA書架 372イ



作者が世界各国の学校と子どもたちを訪ねた記録です。その数なんと94カ国！教室、授業、給食にお弁当、通学の様子など、日本の学校とはだいぶ雰囲気違います。中には小学生のうちから四つの言語を学ぶ子どもたちもいるようです。

でも、カメラを向けられたときにはにかむような笑顔や、部活に取り組む真剣な表情は、日本も外国のこどもたちも変わりませんね。



ありがとう
佐賀市立図書館 開館

20周年